

川は地域や学校のために：  
“水辺の楽校”のモデルとして、地元の願いはホタルの復活



撮影：2010年4月（群馬県前橋市元総社）

◆11年続いた地元協議会が力に

平成10年より地域住民や小学校の先生などで作られた「水辺の楽校（がっこう）」協議会は、10年間15回にわたる合意形成をすすめ、とくに児童の安全・安心や水路の水質確保などが配慮されました。

◆川本来の自然の豊かさをとりもどす願い

当初の単一な河川改修断面を変更して、右岸側の樹林を残し、左岸は遊休地も取り込み緩傾斜護岸と小水路を整備して多様な水辺環境が実現されています。（平成20年度「関東いい川づくり」2位受賞）

国土文化研究所 特任研究員 岡村幸二（JRRN会員）